

【22_053/技術系メルマガ】「どっちに行くか」を考えるな『どっちでやるか』を考えろ

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

昨日は、米国祝日(プレジデントデー)にて、NY市場が休場という日でしたが

そんな中で1つトレードを行いました。

▼GBPJPY(S) 結果: +40pips ▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1495753851080949761?s=20&t=BCr_OLNhgmVkoAS7k5qnlq

～～

MAの収縮が若干緩いので難しい場所ではあったものの

M15足規模で見る『③波理論』のセットアップが綺麗に整っているポイントでのエントリーになりました。

上の時間足にお伺いを立ててみると

日足以上はどっちつかずな難しい環境であったものの

H4足以下で見ると、MA等の位置関係からするとショート以外の選択肢が無く
下げ方向へ強い①波が確認出来た時点で、もうショートする以外無い場面となりました。

これは、明日実施する『100ポイント限定ライブ』でも解説する予定です。

リアタイ視聴できなくても、後々アーカイブで見られますので(笑)

～～

さて、トレードにおいて、「先の値動きを予想する」事はできない という話

これまでに何回もしてきているので、だいぶ耳タコ(目タコ?)になっているかと思います(笑)

今回も、僕がなぜそのように考えるのか?という事を裏付けるとともに

確度の高いトレードをするために、思考をどのように変えていけばいいのかを言語化していきます。

「■ プライスが「どっちに行くか」は、誰にもわからない」

なかなか結果を出せずに悩んでいるテクニカルトレーダーのほとんどは

「先の値動きがどっちに行くのか？」「上か？下か？」といったような

どこまで行っても推測の域を出られない「予想」に振り回されて、一貫性のないトレードを無自覚に行っています。

以前、【46】通目のメルマガでも紹介した『既に起こった未来』にどれだけ目を向けられるか？

これが、僕らトレーダーの腕の見せ所であるという話をしました。

当時のメールを読んでいない人のために要約すると

～～

先々どうなるか予見しようのないこと(例:公園で遊んでいる子供が今後何をするのか?)

を一生懸命考えるのではなく、起こった事実から導かれる結果(例:子供が鳩の群れに

向かって行ったら、少なくとも鳩は飛び立つ可能性が高い)に目を向け

そこにリスクを取りに行こう

～～

、、、といったお話です。

これをトレードにあてはめて考える場合

シングルタイムフレームで「売りのセットアップが整った、これはショートだ!」と思ってエントリーするも

見事に担がれた、という経験をした人は多いと思います。

少ない手掛かりで先の値動きを「上か？下か？」という基準でしか判断しなかった場合
このような罠にハマられることが多々あります。

僕がマルチタイムフレームによるトレンドフォローを戦いの軸としているのは
まさにこの罠に掛かる可能性を少しでも下げるため(ゼロにはならない)で
それを表現しているのが、先日呟いたこのツイートです。

▼ツイート:天井圏のショートだと思ったら。。。▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1492805982140907524?s=20&t=d48ycdDCSZqRoCHchShBSg>

これは、中長期の背景を考慮せずに単一の視点だけで値動きの方向を予想してしまうために
陥る罠とも言えますが

より根本的な問題を突き詰めていくと、「値動きがどっちに行くか」を自分勝手な予想で
決めつけてしまっていることによっても起こっている事を理解しておかないといけません。

冒頭でも僕が言ったように、「先の値動きを予想」しても、それはあくまでも「予想」でしかなく
いくらテクニカル分析を駆使したとしても、『相場の不確定性』を否定するような
「先の値動きの予知」をすることは不可能なのです。

なので、ここでタイトルのテーマをようやく回収しますが、「値動きがどっちに行くか」を
一生懸命考えるのではなく

『何を根拠として』自分が『どっちにトレードするか』を一貫して考える分析をするように
心がけていくのが、トレードの収益を安定化させる唯一の方法なのです。

先ほどのツイートを参照しながら考えるとすると

～～

前提として、上位の時間足の環境は、安値の更新失敗⇒底値を打っている中で

押し目の下落を作っている『可能性が高い』

ならば自分は、『ロング』の方向で目線を固定し、利確・損切位置を決める

～～

というロジックスキームになります。

こう考えると、あくまで与えられた情報を基に、自分が『どうするか』を主体的に決めているだけで

「値動きがどっちに向かおうとしているのか？」という不確実な情報とは切り分けた分析が出来ますよね。

僕らトレーダーは、常にこのような分析・判断・取引を一貫して繰り返せるようになることが重要で

これこそが僕の定義する、トレーダーにとって必要な『技術』と言い換える事もできるわけです。

いきなり思考を切り替えていくのは難しいかもしれませんが

また色々と事例を出して視点を変えながら説明していこうと思いますので

何か疑問点などがあれば、遠慮なくこのメールへの返信で送ってきてくださいね。